



藤井寺市 第三期保健事業実施計画（データヘルス計画） 第四期特定健康診査等実施計画

2024（R6）年度～2029（R11）年度

概要版

1 データヘルス計画とは

データヘルス計画とは、特定健診や医療・介護情報などから、被保険者の健康課題を分析し、P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施するための計画です。

データヘルス計画では、特定健診・特定保健指導の実施状況の評価を行うことと特定健康診査等実施計画の計画期間が令和5年度で終了することから、データヘルス計画と特定健康診査等実施計画の両計画を合わせて、一体的に策定しました。

2 第二期データヘルス計画【2018(H30)年度～2023(R5)年度】の目的と目標

健康寿命を延伸することができれば、自立した生活を送る期間が長くなり、QOL（生活の質）の向上につながります。

また、要介護（要支援）状態に陥ることを予防できれば、医療費の適正化につながることから、第二期計画では「健康寿命の延伸」、「QOLの向上」、「医療費の適正化」を計画の目的としていました。

～ 計画の目的 ～

QOLの
向上

健康寿命の
延伸

医療費の
適正化

【中長期的な目標】

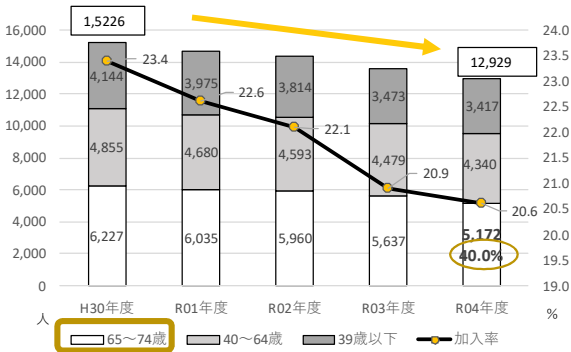
計画の目的を達成するための目標疾患である
脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全の減少

【短期的な目標】

中長期的な目標を達成するための目標疾患である
メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病、脂質異常症の
減少・重症化予防

3

市国民健康保険の被保険者数・加入率・総医療費・一人あたり医療費の推移



- 国保加入率は 20.6%
- 加入率及び被保険者数はいずれも年々減少傾向
- 年齢構成では 65~74 歳が 40%を占める
- 被保険者数の減少に伴い、総医療費は減少も、一人あたり医療費は増加

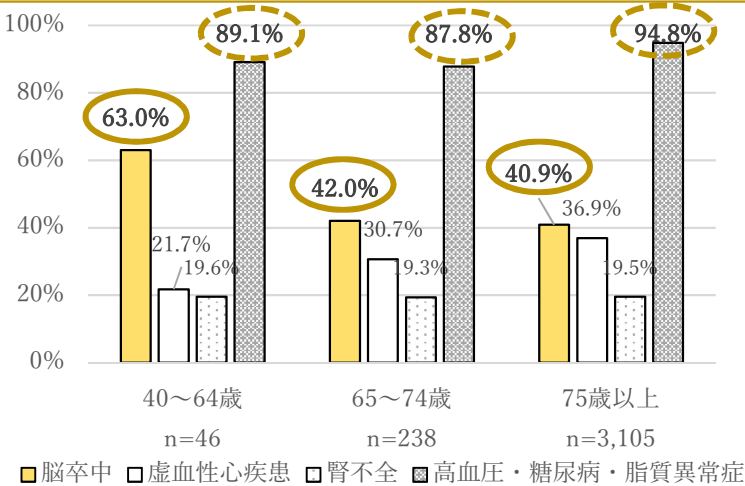
被保険者の平均年齢は 51.7 歳、
 国(53.4 歳)より
 やや若いけど、府は 50.9 歳だから
 国よりは 2.5 歳も若いね
 一人あたり医療費は府・国と比べて、
 本市は高い水準やね



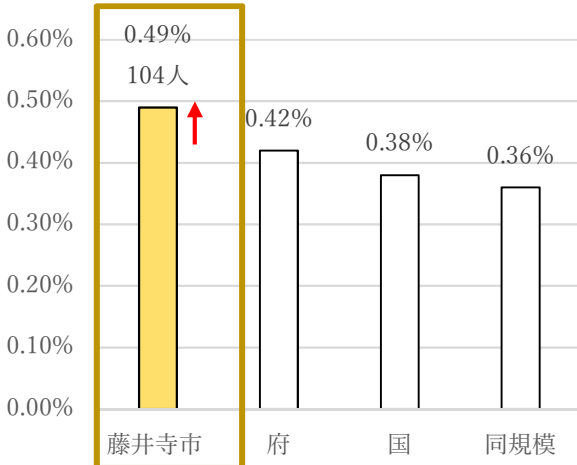
	藤井寺市		府	国
	H30年度	R4年度		
総医療費	50億5,713万円	47億2,172円	—	—
一人あたり医療費(円)	332,138円	365,203円	329,982円	321,633円

4

要支援・要介護認定者の状況



- 【国保・後期高齢者医療(R4 年度)】
- 要支援・要介護認定を受けている 40~64 歳の方では約 6 割、65 歳以上の方では、約 4 割に脳血管疾患(脳卒中)のレセプトがある
 - 要支援・要介護認定を受けている方は年代に関わらず、約 9 割に高血圧・糖尿病・脂質異常症のいずれかのレセプトがある



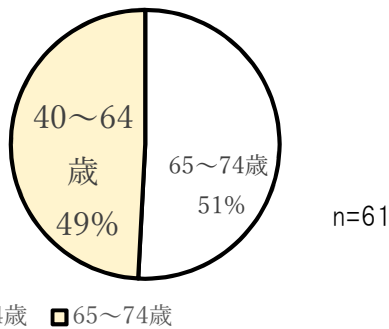
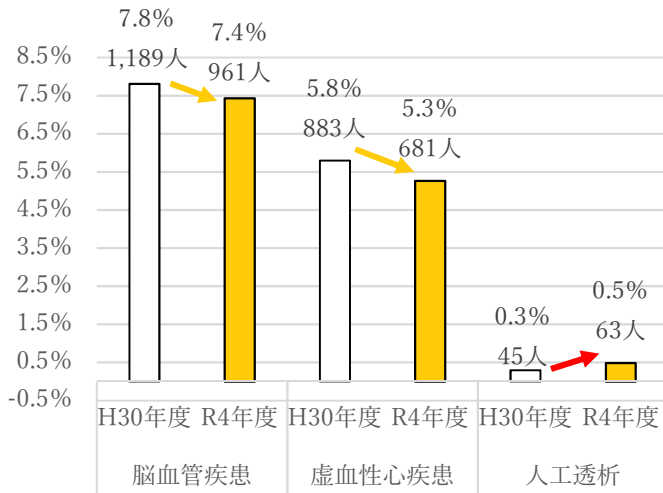
【市全体】

- 要支援・要介護認定を受けている方の内、40~64 歳の占める割合は、H30 度より、微増しているうえ(0.46%→0.49%)、府・国・同規模市町村より 40~64 歳の占める割合が高い

40~64 歳は、健診受診率も低いねんて(65 歳以上が 59.2%に対し 35.5%)

脳血管疾患等になって
 介護が必要な状態に
 ならないよう、まずは健診受けて
 もらわんな





【国保・0~74歳】

■脳血管疾患、虚血性心疾患の患者割合は減少しているものの、人工透析の患者割合はやや増加

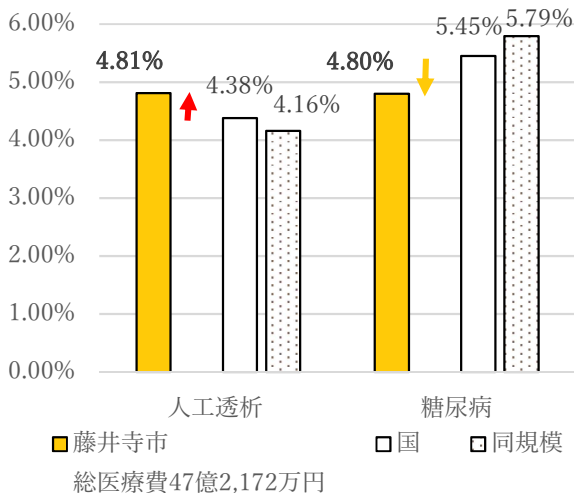
人工透析の方の5割(50.9%)は糖尿病性腎症やねんて糖尿病性腎症の重症化予防が大事やね



【国保・40~74歳(R4年度)】

■人工透析の方の約半数が40~64歳

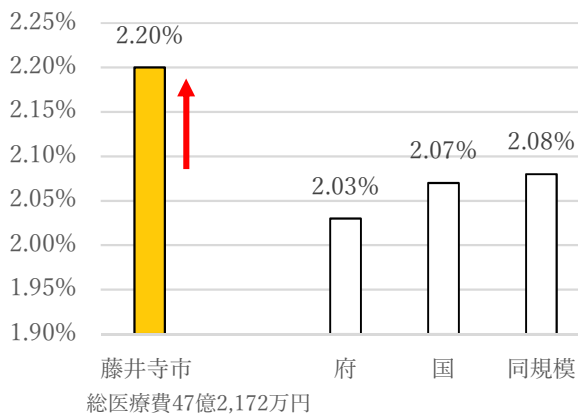
40~64歳の人工透析がH30年度の1.3倍(23人→30人)に増えているなあ
予防をしていくことがいかに大切かを伝えていかなあかなあ



【国保(R4年度)】

■糖尿病の総医療費に占める割合は、同規模や国と比べて低い一方で、人工透析の割合が同規模や国より高い
参考：府も本市と同じ傾向

糖尿病の適切な治療を受けな
いままに、人工透析へと重症化
している可能性があるかも
しれない・・・

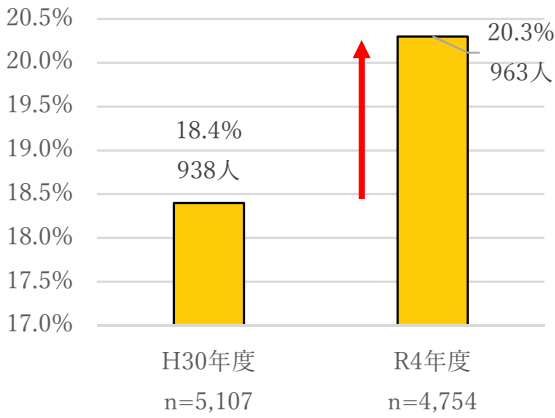


【国保(R4年度)】

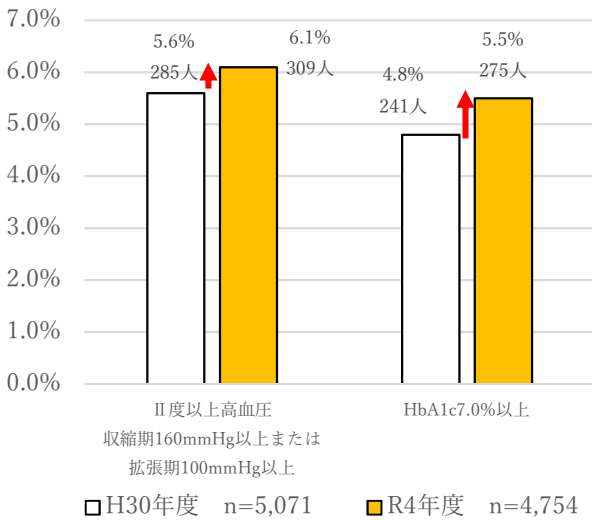
■脳血管疾患の患者数は減少しているものの、脳血管疾患の総医療費に占める割合は、府・国・同規模と比べて高い

より医療が必要な状態での発症や脳血管疾患を再発のする方が、増加傾向にあるのかもしれない・・・

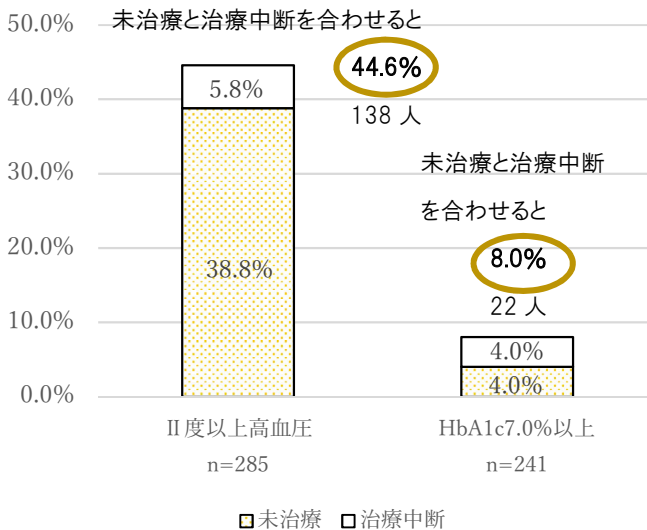




※法定報告ではなく、全受診者(本人提供データを含む)



【健診で高かった方の健診受診後の治療状況】



【健診(メタボリックシンドローム)】

■平成30年度に比べて、メタボリックシンドロームの該当者(内臓脂肪の蓄積に加え、心疾患や脳血管疾患などの循環器疾患を発症させる危険因子が、重複した病態)の割合が増加

【健診(血圧・HbA1cの高い方の状況)】

■血圧、HbA1cの高い方が増加
■健診で血圧・HbA1cの高かったものの、未治療・治療中断されている方が血圧高値で約4割以上、血糖高値で1割弱いる

未治療や中断されている理由は一人ひとり違うかもしれない…生活習慣病対策の重要性を分かっていたら必要があるなあ

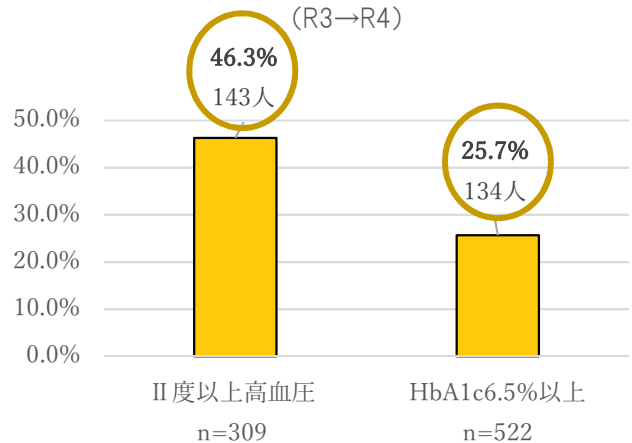


■2年連続で健診継続受診した方の改善割合は、HbA1cの3割弱に対して、血圧では5割近くと改善率が高い

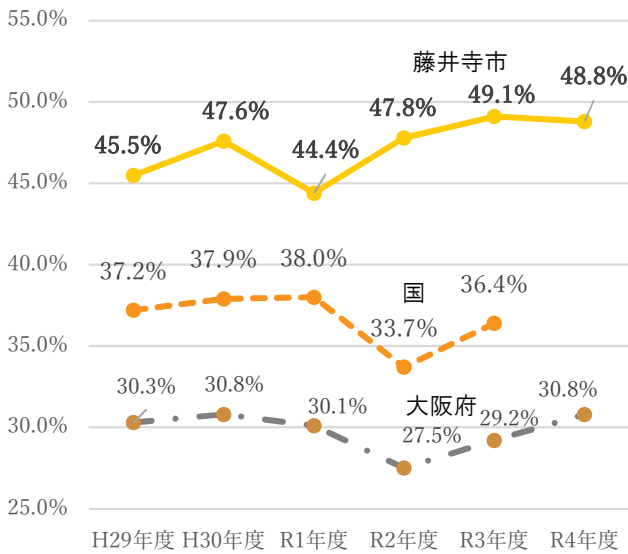
高血圧は糖尿病に比べて薬物療法等により、改善効果が得られやすいことが分かるなあ



【健診で高かった方の翌年度の改善割合】(R3→R4)



特定健診受診率・特定保健指導実施率の推移



【特定健診受診率】

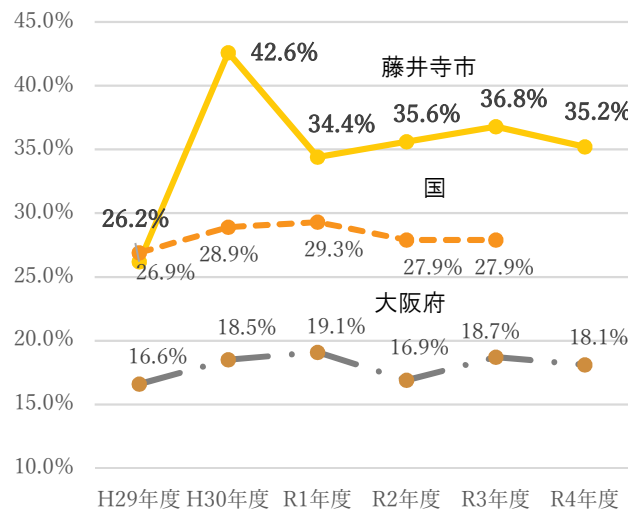
■国・府の平均より高く、R4 年度では府平均より18pt高く、府内 43 市町村中 2 位

★令和 4 年度

- 1 位 豊能町 49.2%
- 2 位 藤井寺市 48.8%
- 3 位 吹田市 43.6%

★令和 3 年度

- 1 位 藤井寺市 49.1%
- 2 位 豊能町 47.3%
- 3 位 吹田市 42.8%



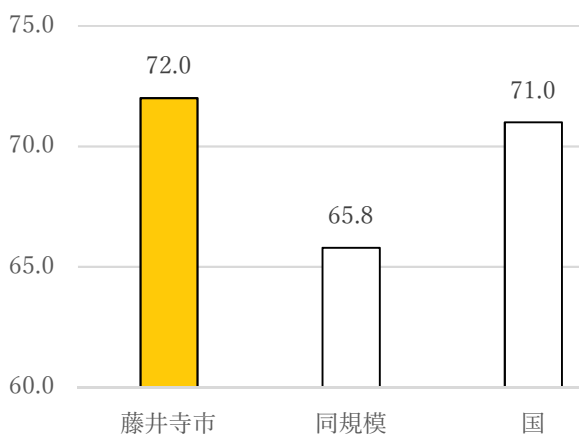
【特定保健指導実施率】

■国・府の平均より高く、R4 年度では府平均より約17pt高く、府内 43 市町村中 10 位

必要な方にもっと利用してもらえるよう、利用して下さった方が、再度必要になった時に、利用しようと思っただけのよう、実施方法や内容の改善を考える必要があるなあ



生活環境から推測される必要なきめ細やかな健康支援



【第三次産業の就業者割合】

■第三次産業の就業割合が同規模市町村や国と比べて高い

生活のリズムが不規則になりがちになることもあるので、一人ひとりの生活環境を丁寧に確認しながら、日常生活の中で取り組めること、またそれを継続できるようにすることが大切やね





第二期計画の目的を承継

「健康寿命の延伸」・「QOLの向上」・「医療費の適正化」

【中長期的な目標】 脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全の減少

【短期的な目標】 メタボリックシンドローム、高血圧、糖尿病、脂質異常症の減少

保健事業の方向性

■生活習慣病は自覚症状がないため、まずは健診を受けていただくよう、健診受診率の向上を目指します

■生活習慣改善の重要性を認識し、健康の維持・増進に取り組んでいただけるよう、普及・啓発を図るとともに、個人の健康状態や生活環境に応じた健康への取組をきめ細やかにサポートします

■治療を放置・中断している方に保健師などの医療専門職が、現在の体の状態や将来のリスクについて、分かりやすく丁寧に説明し、受療への働きかけを行います

保健事業の方向性に沿って、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの両輪で取り組みます。

1. ポピュレーションアプローチ

生活習慣病の重症化により、医療や介護(支援)が必要となっている本市の実態や、その背景にある生活習慣や社会環境等について、広報誌のほか、教室や訪問・面談など保健事業の機会をとらえて情報提供し、生活習慣病の発症・重症化予防の重要性を認識し、健康の維持・増進に取り組んでいただけるよう、普及・啓発を図ります。

【実施時期】 通年

2. ハイリスクアプローチ

生活習慣病は自覚症状がないため、健診の受診率の向上を図り、血糖、血圧、脂質等の検査結果の改善に取り組めます。

健診の結果、医療受診が必要な方には、適切な受診への働きかけを行う受診勧奨を、治療中の方には、医療機関と連携し、重症化予防のための保健指導を行うなど、個別の状態に応じたサポートを行い、生活習慣病の重症化予防に取り組めます。

【実施方法】 訪問・面談・電話

【実施時期】 健診結果が届き次第、対象基準を決定、選定し順次実施

第三期データヘルス計画の最終年度に向けて、次の通り数値目標を設定します。

脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全については、加齢とともに脳、心臓、腎臓の3つの臓器の血管が傷んでくるため、高齢化が進展する昨今では、医療費そのものを抑えることが厳しいことから、伸びを抑えることを目標とします。

関連計画等	達成すべき目的		実績			データの把握方法 (活用データ)	
			初期値 R6 (R4)	中間評価 R8 (R7)	最終評価 R11 (R10)		
データヘルス計画	中長期目標	脳血管疾患・虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制	脳血管疾患の総医療費に占める割合の維持	2.2%	2.2%	2.2%	KDBシステム
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合の維持	1.2%	1.2%	1.2%	
			慢性腎不全(透析有)総医療費に占める割合の維持	4.8%	4.8%	4.8%	
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少 ※1	50.9%	50.5%	50.0%	
	アウトカム指標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	★メタボリックシンドローム・予備群の割合の減少	32.4%	32.0%	32.0%	法定報告値
			健診受診者の高血圧者の割合減少 (160/100以上)	6.7%	6.5%	6.0%	藤井寺市 保険年金課
			健診受診者の脂質異常者の割合減少 (LDL160以上)	10.1%	10.0%	10.0%	
			健診受診者の血糖異常者の割合の減少 (HbA1c6.5%以上)	10.4%	10.0%	10.0%	
			★健診受診者のHbA1c8.0%以上の未治療者割合の減少	0.63%	0.60%	0.60%	
	アウトプット	特定健診受診率、特定保健指導実施率を向上し、メタボリックシンドローム該当者、重症化予防対象者を減少	★特定健診受診率60%以上	48.8%	52.5%	57.5%	法定報告値
			★特定保健指導実施率60%以上	35.2%	42.5%	55.0%	
			★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少 ※2	25.8%	27.0%	28.0%	
			後期高齢者医療の健診の受診率向上 ※3	39.56%	40.0%	40.0%以上	広域連合会ホームページ

★ すべての保険者で設定することが望ましい指標

※1 KDBシステム厚労省様式2-2N012_糖尿病性腎症は、人工透析患者のうち、基礎疾患に糖尿病の診断のあるものの数

※2 分母のうち今年度は特定保健指導の対象者でなくなったものの数/昨年度の特定保健指導利用者数

※3 大阪府後期高齢者医療広域連合では受診率を小数点以下2桁で公表



藤井寺市健康福祉部保険年金課
〒583-8583 大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号
☎072-939-1353 Fax072-939-0399